

ありがたうお母さん

京都府
与謝野町立山田小学校二年しお見^みり子^こ

わたしのお母さんはひとことというのと、きつと出あったことがないくらい、おによりこわいお母さんです。

すごくがんばりやさんで、いつも、いそがしそうにはたらいています。

「お母さんはきつと、止まると死んでしまうかもー。」
と言っています。

でも、動物が死んでしまうテレビとかを、いっしょに見ていると、タオルをかた手に、なみだをふいています。だれよりもこわいだけと、なみだもろいお母さんです。

朝、家ぞくの中で、「ばん早くおきてはたらきはじめるのが、お母さんです。そんなお母さんは、かんごしをしています。」

わたしたち三人を学校におくり出すと、弟をほいくえんにつれて行きます。

さいきんでは、
「ガソリンも高いし、エコつうきんよ。」

と、わらいながら、じてん車でびょういんへ出かけます。

そんなお母さんは、仕ごとが大好きです。白いきがえると、気分がしゃきつとするのだそうです。この仕ごとをはじめて、もう二十年がすぎたそうです。

わたしも時どきねつがでると、お母さんのはたらくびょういんへ行つて、点てきしてもらいます。

びょういんではたらくお母さんは、とてもテキパキしてい

て、手をうごかしながら先生のしじを聞いて、どうじにいろんなことをしています。家で見えるお母さんとは、ぜんぜんちがう人のようにです。

わたしのいえでは、ねつをだしたりして体ちようのわるい人は、お母さんとなりでねることになっています。

わたしは、そのときが「ばんうれいしいです。いつも弟がお母さんをひとりじめして、わたしが行くとおこるから、いつもがまんをしています。でも、ねつがあるときは、お母さんをひとりじめできるから、うれしくてしかたがありません。

このまえ、お母さんが、頭がひどくいたくて、ねこんでしまいました。

「お母さん、だいじょうぶかな。」
と、心ばいでやるもねむれませんでした。

きょうだい四人で、力をあわせて、おてつだいをしました。せんたく、そうじ、弟のおふる、きがえなど、たくさん仕ごとがありすぎて、とてもたいへんでした。

四人がいくらがんばっても、お母さんのようにはできませんでした。

だから、今、おもいます。
「お母さん、ありがたう。」

お母さん、大好きだよ。
いつまでも、いつまでも、元気でいてね。」